

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

四肢・骨盤骨折、軟部組織損傷、および変形性関節症に対する保存的治療、外科的治療の臨床成績の検討

[研究責任者]

整形外科 診療部長 佐藤 徹

[研究の背景]

あなたは四肢・骨盤骨折、軟部組織損傷、または変形性関節症を発症しています。現在、年間に発生する単純四肢骨折は 100 万人あたり 16,000 人、重度四肢外傷は 1,000 人、多発外傷は 150 人とされています。そのうち、適切な治療により避けられた後遺症が 10-90%に起こっているという報告があります。外傷による後遺症は、若年者の労働力人口を減少させ、高齢者の四肢機能障害による介護・医療費の増大を招く、社会的損失の大きい問題です。また、高齢化社会が進むにつれて変形性関節症の増加も問題視されています。50 歳以上の 1000 万人が変形性膝関節症による膝関節痛を経験しており、変形性関節症による移動能力や生活能力低下が社会問題となっています。治療による結果、成績について不明な点も多く、様々なデータを収集し結果を解析していくことで将来の診療の質が向上することが考えられます。

[研究の目的]

2 次救急医療施設である当院での外傷および変形性関節症患者さんの記録を収集し、その臨床成績や X 線画像、CT 画像を分析することで、診療行為と治療結果との関連を明らかにし、診療の質向上に寄与することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2010 年 1 月 1 日から倫理審査委員会承認前の方に当院で治療を行う四肢・骨盤骨折、軟部組織損傷および変形性関節症患者さんの患者さん

●研究期間：倫理審査承認後、実施許可日から西暦 2027 年 6 月 30 日まで

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

- ・ 年齢、性別、診断名、既往歴、内服薬、嗜好歴

- ・ 診察所見、X線画像所見、CT画像所見、治療内容
- 検体や情報の管理
検体や情報は、当院のみで利用します。
情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター
整形外科 診療部長 佐藤 徹
整形外科 医師 横尾 賢
〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1
電話 086-294-9911
FAX 086-294-9255